



多文化共生連続講座

第1講座

中国帰国者の歴史から満州経験者の高齢化問題を考える(報告会)

戦後、中国に残された「残留孤児」。2022年、帰国のきっかけとなった日中国交正常化から50年が経過しました。改めて、中国帰国者の歴史的経過から現状、さらに今後どういったことが課題になっていくのかについて報告を受け、参加者どうしの意見交流も行います。

併せて、「満蒙開拓団関連資料パネル展」も開催します。

報告者：河本 尚枝さん(広島大学 大学院人間社会科学研究科 准教授)

客本 牧子さん(福山市中国帰国者をささえる会代表)

(NPO 地域生活支援センターほんわか代表理事)

牧田 幸文さん(福山市立大学都市経営学部 准教授)



日時：12月18日(日) 13:30~15:30

会場：加茂交流館 大会議室(福山市加茂町芦原491番地1)

*この報告会は、科学研究費「日系高齢マイノリティの「その人らしい暮らし」を支援するための基礎研究(基盤研究(C)18K02104)」の助成金を受けたものです。

主催：多文化の背景を持つ高齢者の生活研究会

共催：中国・四国中国帰国者支援・交流センター / 北部地域振興課

問合せ先：北部地域振興課 (Tel 084-976-9460・FAX 084-976-8150)

(E-mail hokubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp)

※ 第2講座は、1月15日(日) 13:30~ 中国映画「-満蒙開拓と少年たち-『蒼い記憶』」上映会です。詳細は、次号「たんぽぽ」でお知らせします。

関連巡回パネル展

「満州開拓団関連資料パネル展」

12月15日 ~ 12月23日 加茂交流館

12月27日 ~ 1月6日 北部市民センター

1月11日 ~ 1月15日 新市公民館



北部市民フェスティバル2022～ひとの輝き 織りなす未来(あした)～ が終わりました

今年度は、あした交流館を会場にして11月2日(水)～11月7日(月)の間、北部管内14学区・地域のまちづくり事業報告や福山城築城400年関連パネル展を主として、「北部市民フェスティバル」を開催しました。

11月6日(日)には、芦田地域の方がとれたての野菜、果物などを出店されている「わくわく市」もあり、親子で楽しめる簡単工作と体験コーナーも設け、より多くの方に展示を見ていただきました。



人権パネル展「ウクライナから届いた、戦禍の中の子どもたちが描く平和への願い」

10月21日(金)から27日(木)の間、北部市民センター市民サロンにおいてウクライナで幼児教育に関わっている先生からメールで届いた子どもたちが描いた絵を展示しました。

今もなお、戦禍の中にいる子どもたちの心は、深く傷つけられていると思います。作品からは戦禍の中でも前向きに生きようとする子どもたちの力強さが伝わってきました。絵を通じて、戦争の理不尽さと命の大切さを学びました。



わたぼうし

『世界人権宣言』は、人権を軽視することが戦争を引き起こし、戦争によって人権がさらに侵害されるといふ悪循環を繰り返してきた人類の歴史を振り返り、第二次世界大戦による参加を2度と繰り返さないという深い反省に立って1948年12月10日の国連総会で採択されました。人権を確立することが世界の恒久平和を実現することにつながるという精神を世界に発信したこの宣言は、すべての人が誰にも侵されることのない人間としての権利をいつでも、どこでも享受できるよう、すべての国、すべての人が守らなければならない最低限の共通規範として合意したものであり、人権と平和の確立に向けた歴史において極めて重要な意味を持っています。